

施設名称	産業研修センター	指定管理者の名称	財団法人 台東区産業振興事業団			
1. 指定管理者の概要						
①業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 区内中小企業の育成や中小企業勤労者の福祉向上を目的に、昭和56年に任意団体として発足。平成11年に勤労者サービスセンターと統合し、現事業団になった。 地場産業（皮革産業）を始め産業振興の中核としての役割を担っている。 勤労者サービスセンター及び産業研修センターを運営し、中小企業勤労者の福祉に貢献している。 					
②類似施設の管理実績	なし					
③経営状況	基本財産の額 5 億円 [収入] 235,892,214 円 [支出] 150,505,796 円 [区返還] 6,562,933 円 [当期末残高] 78,823,485 円					
2. 施設の概要						
①所在地	台東区橋場 1-36-2					
②設置目的	台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上を図る。					
③利用者	①区内の中小企業者 ②区内の中小企業の振興発展に寄与する団体 ③区内の中小企業に勤務する者で構成する団体 そのほか、指定管理者が適当と定めたもの					
④開館日・時間	・休館日 ①毎週月曜日②国民の祝日に関する法律に定める休日（月曜日の場合はその翌日） ③1月2日、3日④12月29日から31日まで・開館時間9時から22時					
⑤規模	旧館：昭和56年10月1日開設・延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設（貸事務所9室） 機械研修室 新館：昭和58年11月1日開設・延床面積 1,179.04㎡ RC造4階建（4階橋場老人福祉館併設） 会議室、研修室、皮革産業資料館兼図書コーナー					
⑥人員体制	産業研修センター所長 1名、事務職員 4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
①委託事業	【サービス提供】登録団体への各研修室、会議室等の貸出					
②自主事業	革工芸教室・太極拳教室・語学教室・パソコン教室等実施					
4. 施設の稼働状況等						
平成21年2月から11月まで、事業者支援施設に係る改修工事のため旧館閉鎖。平成20年6月トレーニング室閉室						
【貸出施設利用数】施設利用件数 926件、利用者数 21,207人（20年度）						
【事業実績】皮革産業資料館見学者数 379人（主な見学者：区内小学校児童、関東近県の市町村教育委員会）						
5. 予算決算の推移 （単位：円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	38,087,000	39,541,000	44,384,000	43,900,000	35,963,000
	料金収入等	3,435,000	3,279,000	3,315,000	3,172,000	3,784,000
	管理経費	41,522,000	42,820,000	47,699,000	47,072,000	39,747,000
決 算	負担金補助及び交付金	36,740,332	39,541,000	40,414,482	40,890,999	
	料金収入等	3,079,150	3,163,500	3,394,175	2,368,475	
	管理経費	39,819,482	42,704,500	43,808,657	43,259,474	
	収 支	0	0	0	0	
6. 指標						
指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度	
利用人数	人	15,000	23,338	21,207	14,000	
ものづくり工房	室	9	—	—	9	

7. 評価項目

- 3：協定等の水準を上回っている。
- 2：おおむね協定等の水準どおりである。
- 1：協定等の水準を下回っている。
- ：評価対象外項目

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [2] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.2]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]

8. 評価

- A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
- A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。
- A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
- B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	管理基準を充足しているほか、施設利用受付、承認についても速やかに処理されている。自主事業については、講座内容を見直すなど、工夫がみられるが、支出に対する収入が低いため、周知方法など利用者増加に向けた工夫が必要である。
②施設の維持管理	A	清掃・夜間施設管理については、シルバー人材センターを活用し、適切に行われている。業務日誌や施設利用者報告書等を記録しており、区への報告については、適切かつ速やかに行われている。
③利用者の満足度	A+	利用者アンケートを活用し、ニーズに即した講座内容を改正するなどの積極的な取組みがみられ、利用者確保に向け努力している。定期的に皮革関連団体との間で運営委員会を開催し、意見等を踏まえて施設の運営の改善を図っている。
④歳入歳出	A	20年度は利用団体の減少により利用料収入が減少したが、利用率が低調であった和室（集会室）の洋室化への改修などの環境改善を行い、施設の収入確保を図った。
⑤総合評価	A	指定管理者制度として、事務処理も含め概ね良好に管理されているが、新規事業を含め広く施設PRを行い、利用者の拡大を図る必要がある。

9. 課題への対応等

地場産業振興のための事業者支援施設の設置及び利用者のニーズにあった施設展開を図るために、昨年度末から施設の改修工事を行っている。事業内容の見直しにより区民や事業者へのPRを徹底し、さらに事業団の工夫により利用者数を増やすよう指導した。